

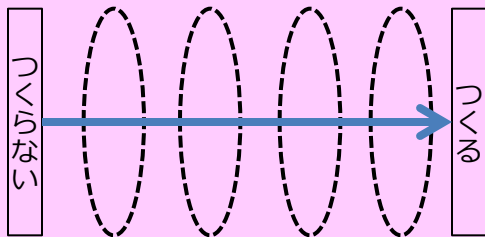
第5回ワークショップでのグループワーク意見

平成24年1月14日

鎌倉市市民経済部産業振興課

共存のための課題と解決の可能性

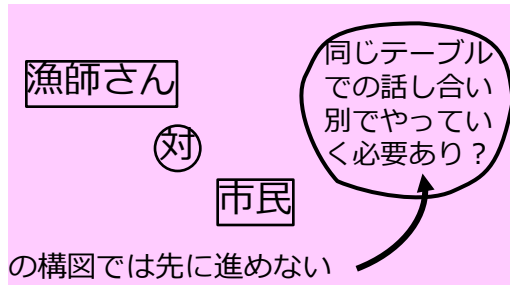
つくるか、つくらないか、ではなく



◎ 段階的、試行的、改善が必要

- ◎ 船の避難を協働でやる
- ◎ 鎌倉で獲れた魚を大船でも売ってみる
- ◎ できるだけ手をかけずに改善できる方法を考える

ビジネスの形で目に見える、と
もっと漁港の重要性認知度が高まる



新しいビジネスモデル
を構築していくことも重要では？

地元の漁師さん、魚屋さん、料理屋さん
…関係者みんなが得をする

漁対協案に対する代替案の検討

例) 腰越で…と
出されたら？

ローカルへのこだわりを
大切にしたい

寄付・市民ファンド
の方向性も
考えられる



「代々…」というのは
甘えではないか？

材木座
坂ノ下…
(本当はまた異なる…)

新港にこだわるよりは
併合にもっと積極的に
取り組むべきだ
新港建設は無理だ

新たなWS立ち上げとその支援

みんなで、
市民で…

それは

誰？

各々の立場の

地元への愛！？

国有地…
公有地…

市民として納得できるルール
づくりが必要

一般市民は新港建設に驚いて
いる
民意を反映していない

各論併記であっても良いので
次期WSに明確な「申し送り
事項」をとりまとめるべき

浜小屋の使用について漁民と
市民による協議機関を作るべ
き
現在の使用方法はひどすぎる

今後のWSには
市長等も参加するべき

ex. 分科会方式

(1) 環境への影響

公有水面で1坪運動を!!
↑
三大緑地
中央公園
NO!!×人工構造物!!
《ナショナルトラスト運動発祥》

WSは漁体協のサポート機関ではない
新港建設は観光都市の推進に妨げとなる

専門家にお任せしたい

(2) 費用対効果

安全に対する
費用対効果はあるの？

費用対効果の定まらない
事業をこれ以上進めるの
には反対

税金を新港建設に使うの
は反対という声を真剣に
聞くべし

みんなで…
市民で…
って誰

距離感

(3) 検討経緯

「漁港を造るとしたら…」
という前提で漁体協が進められ
てきた感は拭えない

市民皆で!!
このWSはそもそも海に近い人
ばかり

浜の美観と < 世界遺産
観光
一般市民全体で…

現実的な問題
↳ 日常的な理解
まずは **広報** で、とか!!
解決できることから着手す
べき

(4) 行政関与

やり方が難しいのは理解できる

由比ヶ浜の漁業者が腰越、小坪
へ移りやすいよう行政で施策を
進めるべき

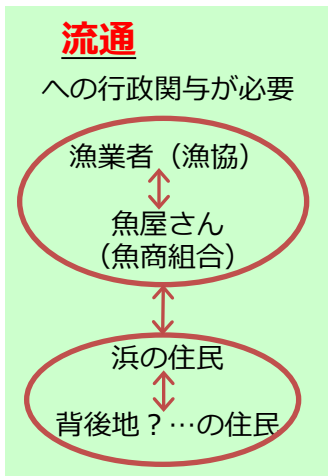
観光課の目標と合致する摺り合
わせが必要だと思う

一般市民の声を聞かない市議会
が間違っている
もっと市民の声に耳を傾けるべ
きだ

議会 VS 市民の声
相反している
のではないか?
50~60年前と変わっていない!!

(5) 産業

「水揚げ」された魚が市民
に流通するルートが確
立されていない。



「魚」"地消"される
SM (ストアチェーン) が
整備されないと費用対効果
に疑問
市の税収はどうする
漁業の活性化

市としての漁業のあり方
ビジョンが見えない
鎌倉の文化らしく!!

鎌倉文化を守る…
文化とは?

地産地消というけど流通
の合理化に逆行しては意
味が無い

腰越…遊漁
案内業 (多)

(6) その他

テーマ、設定
まとめ方に問題あり
メリット・デメリット
↓
造る事が前提のよう

WSの進行、まとめ方が
誘導型に見える

「長井」…葉山の方…
のような状態が理想

WSとして何らかの
意見集約を図らないと
位置づけが無意味になる

最高14mにも達すると
見直された鎌倉への
「津波」対策が最優先
されるべきである
国税、県民税、市民税
の使途として認められ
ない⇒反対

(1) 環境への影響

環境アセスで事業中止にならないのではアセスの意味が無い

近隣マンションへの影響とは何？

(2) 費用対効果

環境アセス、B/C分析が漁港を造る前提でしかできないというのはおかしいし、行政の怠慢

市民一人当たりの負担額は？

B/C分析で効果が少ないとなったら事業中止されることはあるか？

漁対協である程度事業の内容は定まったはずであればB/Cは概算できるはず、市の説明に誠意が感じられない

(3) 検討経緯



(4) 行政関与

現時点で管理者である神奈川県は、漁港建設に対してどう考えているのか？県がNGと考えているのであればWSの時間と努力自体ムダでは？

税金の使い方についての議論は市議会での議題では？

(5) 産業

漁港建設と産業との関連性も不十分で、建設しても漁業者の収入増には直結しないのでは？それより先にすることを考える必要がある！

もし港ができるのならば...
直売所スペースを置くのもあり!!

(6) その他

現状だと危険!!
安全、安心な港がほしい!!

台風が来て波で船や浜小屋が134号線に流れて被害が出る前になんとかしないと!!

現状では漁港建設に無理があるので、漁業者が安全に操業できる代替案を皆で考えるべき

震災後の国、市、市民にとっての優先順位も考慮、言及しないと、鎌倉市および市民の良識が問われてしまいます。
優先順位から考えて、現時点では漁港建設はムリがあるのでは？

震災対策等の優先順位が高まる中、多額の税金を効果もよくわからないまま、少数の方々のために使おうというのは市民の理解を得ることにムリがあるのでは？

共存のための課題と解決の可能性

反対意見
(具体的な)

のがほしい

目先のことを考える必要がある



例えば台風への対策が先じゃないか

海への景観への影響が気になる

15年も待てない!

漁対協案に対する代替案の検討

共存というより

打開策

↳具体例として
逗子マリーナ供用

テトラポッドを利用してI案付近でスロープを利用して造れないか

逗子マリーナを活用した案

鎌倉市と逗子市の共働

逗子マリーナ使えないか?

逗子マリーナ等で、レジャー等と協働で使用できればよいかも
逗子マリーナ等施設に漁港機能を付加することは可能か?

小坪と逗子マリーナで分割して船を泊めるような考え方はどうか?

逗子マリーナで使う費用を鎌倉市で何割か払うというようなシステムで

水産物の朝市等逗子マリーナにできたら流行る

このような共働体制を進めるWSを開けないか

検討プロセス

市の努力として、市民の意見を集め、反映させていくべきだ!

Web等で市民の声を集める



その後にWSがあるべき

市民の何%が賛成、反対かという合意の明確化

何年もB/Cを出してないのは市役所の怠慢でないか?

共存のための課題と解決の可能性

誰と誰の共存

私たち漁業者は共存を現在でも進めております

観光、防災？

市民経済部産業振興課が担当している理由は？

↓
地域活性化のための漁業の産業振興

マンション建設時にも共存に対して議論されてきた

・共存の為の手法
国の方針の6次産業化を進める！

観光都市鎌倉と市民生活との共存は？

共存することには必ずマイナスがある

砂浜での漁業活動に対して部外者が勝手に船に土足で乗ったり、漁具を動かす

漁港以外の解決案をつくる可能性はあると思う。

でも市民たちが調査や考える(時間)がほしい

昔ながらの木の樽で人の感覚でつくる日本酒やワインのように、苦勞して昔どおりの方法で獲る魚にはそれなりの価値があると思うし、それをわかる人は応援してくれるはず

「法律」は絶対なのですか？

例えば台風時に船を歩道に揚げて交通キップを切られないように特区にすべき

砂の増減の問題は港と関係あるのか？

別の方法が検討されるべきでは

海の景観を大切にしたいと思うならば、浜の片づけをボランティアで市民が手伝うべき。そのシステムを市やNPOができればよい

漁対協案に対する代替案の検討

漁対協案というのは我々漁業者や市民の方の漁港建設のためのたたき台である

第六次産業

管理漁業（漁協の活動）を重要視すべき（評価）

食料自給率を支えているのは水産物

とても出せない議論で勝てない

地元小学校に漁業体験を科目として組み込み、「地元の事を知る」と「体験漁業に対する助成で漁業者を支援」の両面をカバーできないか？

例：宮城のとある小学校では「イナゴとり」がその科目になっていて、取ったイナゴを業者に売り、学校の備品をかうと同時に稲の害虫駆除（地域貢献）を兼ねた活動をしていた

まとめの案 素晴らしいがどこからかかってよいのかわからない

新たなWS立ち上げとその支援

来年度のWSについてぜひ開いてほしい
景観、マーケティング、教育の専門家を募ってほしい

漁対協に対抗するだけの時間～ない

あくまでもWSでの意見、結果はWSのものであり、まとめていけば良い
時間が少ないのであれば、もう少し時間をかけてWSでの結果を出せば良い

6次産業化を目指す小委員会をつくる

専門性を持つ人の必要性

プロを利用できることが大事

WSはそもそも作業するもの
現場をみんなが見に行くとか（少なくとも）手・体動かすことが貴重

現場を見てもらいたい

↑
砂・船の上げ下ろし

口で説明しても分からないこと

(1) 環境への影響

現在、台風や時化などで砂浜が荒れているため、漁港を造り、砂浜を整備し、海水浴場やマリンスポーツ等、市民が楽しめる海浜作り、ならびに漁港整備につなげたい。環境への影響は最小限に抑えて

海の景観 というものは土木の分野、ランドスケープの分野でもほとんど研究が進んでいない。鎌倉がその研究のリーダーとなるべき

(2) 費用対効果

B/Cの時間的スパンを「50年」と説明があったが、それは一般的か。「50年後の鎌倉」を考えて今、行動するというのは良い。

B/Cについて
Bの項目はその範囲を市民が提案できるようにしたい。

水産業振興の基本方針『活力ある暮らしやすいまち 産業振興』と、漁対協案に対する『多目的広場は設けない』ことは、矛盾があるように感じ、中身より外見重視の印象と受ける。

(3) 検討経緯

参照 2011/10/15 資料
〔漁対協・ワークショップ〕
市民からの意見
意見の集落・整理につきる
(基本構想案の立案)につきる

(4) 行政関与

和賀江島を漁港とからめる案はもっと検討すべき
「法」は絶対ではない

(5) 産業

地産地消(商)を進めていきたい。
鎌倉でとれた魚貝類を1つに集荷し、鎌倉市民が集まる場所づくり

地産地消は絶対に必要です。1度なくした海の営みは復活しない。

活性化の害はどこにでもある
何の産業でも

鎌倉の産業活性化の起点として必要である

「苦労して漁をしている鎌倉の漁師さんたちなぜなら彼らは鎌倉の海を昔ながらの姿で護りつつ、自分たちの仕事の継承を行おうとしているからなのだ」
→これこそが鎌倉の魚のブランド価値である

(6) その他

「漁港」自体を観光の一つになるようなものにすることはできないか？
「建設方法」「景観」「使われ方」など、新しい取り組みをしても良いと思いました。

漁港は「作る」方向で検討するのか？
「作らない」選択も可
なのか？

防災対策を考えても漁港は必要である

観光都市 鎌倉
VS
市民生活
の意味の「確認」

各種の問題を「一気に」解決することを目指す
と「漁港」となるなら、問題を「分割」して個別に解答を決すべき

「台風時の対策」
「漁業者の確保」
「作業場所、浜小屋」
「地産地消」
はそれぞれ別個のトピックで、漁港が良答とはすぐに結論づけられない。

鎌倉地域の海岸線にあるコンテンツに対して、複合的にもっと検討したい。

漁業・景観・海水浴・マリンスポーツ
「鎌倉」というブランドイメージ
・魚海(食)

をつなぐ漁港としての意味を
鎌倉から発信したい

(1) 環境への影響

自然と対峙するような建設物を造ることは実際には無理なこと

全国で起こっている人工構造物による影響事例を十分に考えるべき
(茅ヶ崎・静岡)

(2) 費用対効果

様々な人から見たそれぞれのBenefit

茅ヶ崎の養浜などマイナスイメージはないのか？
→掘割式の再検討

車で来られないと人は来にくい
本当のB/Cは分母を小さくすることばかり考えてはダメ

茅ヶ崎漁港（事例）

- 建設 34.6億 S62
- 25年間の護岸・養浜 72億
⇒100億→費用として考えるべき

(3) 検討経緯

漁業者が本当にほしい物、場所
《必要なもの》

鎌倉湾の中で漁港が本当に作れるのか？

『造れたらいい』論になってしまっていないか？
・市民として利用できるもの

絶対安全はあり得ない

“市民にとっての漁港”にならないとダメ

(4) 行政関与



(5) 産業

- ・ハード先行
- ・ソフトの先送り ◎

※縦割り行政

市から発信する条例
・防災とか…

鎌倉の観光と漁業が繋がっていない
→イメージがない

来たるべき食糧難
→沿岸漁業は重要
※その問題を市民が考えるキッカケになれば

坂ノ下に観光施設があっても来ないのでは？
→港で買った方が美味しいイメージがある

(6) その他

海レク者と漁業者との関係を維持していく必要性

WSメンバーをもっと広い範囲から集める
・産業：防災：地域 etc

課題に対するソフトウェアでの改善として法律の改正も可能ではないか？
人工物としての公園を公園のまま取り扱うと選択肢を減らしてしまう（公園区域の変更など）

課題に対するソフトウェアでの近隣漁港との統合はないか？
漁法など文化面の融合というソフト面の問題の克服が必要

鎌倉の漁法 “伝統”
⇒他港の利用のむずかしさ

共存のための課題と 解決の可能性

港だけを考えるのではなく鎌倉の湾全体をとらえた対策を作っていくのが必要でしょう

前段階での様々な人の意見を取り入れて考えていくべき

何かしらの施設は必要

「港」という言葉に固執するから良くない

ハード
&
ソフト

台風・災害対策が一番だが漁港建設とは直結しない

漁港建設で全ての課題を解決するのは無理
現状の問題は解決

漁港ではなく“みなと”として市民理解を得る

避難する場所があればいいのでは
工夫は必要だが

浜小屋をどうするかでも大きく変わっていく

地産地消に可能性がある（腰越の例などもあるが）

（漁港建設による）
市民の利益が明確でない

由比ヶ浜は海藻によって砂の滞留が多い

10~20年は無理は共通のよう。
・小さい船を駐車場や歩道に置く— 市で条例などでBackup
・小屋を波に強いものに建てられるように条例を変える
市のBackup

役所視点が強い
住民の視点をもっと持つべき

漁対協案に対する 代替案の検討

大きくは2つ
「漁業者の安全」「市民の利益」
市民の利益は現時点でかなり少ないと考えられる
市民の利益が少ない状況で港を造るには無理がある

環境破壊につながる海へのコンクリート投入には反対

市民への利益がアバウト
利益が生まれることを理由にした多額の税金を投入した漁港建設には無理がある

地産地消には色々、例えば水産業者との問題があることがわかった。
このような状況で地産地消を利益とし、漁港建設には無理がある

現問題の解決には漁港しかないというには理由が弱い
別の解決策を考えるべき

荒天時、アセスメントができていない
原案では建設するには無理がある

まず行うべきは小屋、砂浜の改善案、他港の利用、避難などの交渉ではないか

災害対策として船の避難場所を早く造るべき（港に限らず）

漁業者の確認と浜小屋の整理を行うべき
レジャーボートの小屋があった。漁業者とは言えない

新たなWS立ち上げ とその支援

共存のための課題と解決の可能性

業者にとって漁港は必要。でも条件が整っているか？

漁師さんにとって港は必要

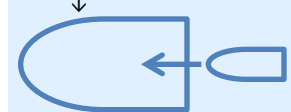
→ただし、地域的、タイミングとしてこの場所は不適切

ホバークラフトのようなものに船を乗せて沖に出る

業者の数が少なすぎる

↑
港建設のコスト
に対して

アセスメントへの考え方が十分なされていない
必要な課題に対して早くかつ現実に対応しないと共存に悪影響がある



波が高くてOK

※右端に添付されたチラシ

漁対協案に対する代替案の検討

まずは漁港建設の前にはできること、やることがいっぱいあると思う

簡易的な消波装置の開発
船を出すためのレール
浜にスロープを造る

和賀江が元々港で条件が良いが史跡というネックがある

漁対協の結論は意見集約がなされないまま安易に出されている

社会情勢を考えれば、かかる負担からも優先順位の問題からも漁港の建設は無理

適切な（自然環境として）候補地の無い漁港建設は無理

維持費用のかかる漁港建設は無理

環境を破壊（＝海を埋める）する漁港施設は無理

景観を破壊する漁港施設は無理

建設費用のかかりすぎる漁港は無理

漁業関係者間およびその他市民との不公平感をなくす

腰越
逗子マリーナ } 共存は？
逗子
両協の漁港との連携したらいい

漁港でなくとも出来る方法はある

掘り込み式が良いのでは。費用がかかるといえども、今の地形を変えない方法
プール跡地
金があれば稲村近くが良い
→しかし金がかかる

浜小屋を鉄筋化し、当面的間そこに本船を引き揚げられるようにする

現在の浜小屋
・漁をしていない人 →規制
・古いもの →整理したらもっとスペースができるのでは？
港の前にもっとやることある

新たなWS立ち上げとその支援

全ての立場においてワークショップ（議論）の継続は必要

新しい漁業のあり方を考えられる人たち（知識のある）を交えて続けてほしい

今の延長での議論は時間がかかりすぎる
現実案の議論をしよう
県で行われている策定や実情に基づいて…

なぎさシンポジウム開催
他の専門家（宇多さんとか）パネリストの講演開催

茅ヶ崎のなぎさシンポジウムに習って鎌倉ももっと海や海岸侵食について学ぶべき

鎌倉なぎさシンポジウム開催

お金も港よりは安くなるし、浜小屋をもっとちゃんとしたものにし、クレーンなど効率良いものにしてあげたら！

漁港建設はお金、情勢、自然保護などからムリ！
→漁師さんの安全を考えると陸揚げ方法案を！

なぜ課題解決のために「漁港」という方法論に限定しない議論の場

議論の素材が足りないのでは？
漁港建設地の候補まで出ている。
ある程度のモデルを提案した上で費用対効果と埋め立ての影響と具体的数値をデータとして出すべき

今後、海に出るものでなく自然に対峙せず陸あげできる方法を考えていくと、もっと市民と漁師の接点ができ、より良い漁業になるのでは？

専門家の意見をもっと聞きたい

県でやっている事と、市でやっている事の策が逆走！している（海に対して）
もっと共存するには深いつながりを！

漁港ワークショップの中に過去の事例や専門家の話
実際の茅ヶ崎の漁師や市民代表を招いてください！

(1) 環境への影響

海岸への構築物の影響が解明されていないのに新たに建造するのは疑問

人工物 = 環境破壊
" = 多大な費用

沿岸に構造物をつくと侵食と堆積が起こると分かって実例も沢山ある鎌倉湾内に建設してしまうと多大な養浜費用も発生してしまうのでダメ！

最小限の港というが、中途半端では結局後から拡幅するであろう（腰越のように）
景観破壊の連鎖は×！
漁港建設は反対！

一度造ってしまったら維持管理していかななくてはいけない事が、大きすぎる。港や堤防は海にこれ以上入れないで！

(2) 費用対効果

これから協議

公共事業という名のもとに新たな借金はいかがなものか

いわゆる箱物行政と言われても仕方ない

3.11後、被災地の漁港を40%維持、残り60%合理化、そんな時に鎌倉に新港はおかしい

建設費用に20億円+永遠に維持費用がかかる少数の漁師さんにそんなお金ないので建設は無理なのでは？

借金大国 日本
これ以上の負担を増やしてよいのか！
次世代の人の事を考えよう

(3) 検討経緯

湾内は波も高く港の実用性が無いと思う
他の代替案を考えることが漁師さんにも市民にも未来があると思う

鎌倉湾に港が必要なら30年前の港ブームで出来ているはず！他の港は今統合して侵食対策をと言われている中、新しく漁港建設は間違っている！

(4) 行政関与

- 30年も前に陳情して出来なかった
- 行政は何をしていたのか
- そしてなぜ今なのか？

漁業のあり方をもっと検討すべき

県や他の港との横と縦のつながりをもっとつって情報共有して考えてほしい

- 坂ノ下が適正というのはどう見ても疑問
- 漁協、行政の企みが？

(5) 産業

漁協、及び行政の漁業振興（案）が良く見えない

獲るだけの漁業からの脱却を考える

今からの港建設は税金の無駄遣いを（今までの日本からみても）もっとすることになるもっと実用性のある代替案を陸側に考えるべき

(6) その他

<強引な>

港建設をしてしまう事は後に被害が出た時に漁師さんを恨んでしまうことになる

もっと起こるべき被害に対して漁師さんに推してもらいたい

共存のための課題と解決の可能性

漁港以外で解決できる案をまじめに考えるべき
漁港ありきでは歩み寄れない

漁港の南側に人工海岸を造る

漁港ができれば1カ所から船が出るようになり、マリンスポーツなど危険が減るのでは

漁港以外の漁業作業改善、安全性向上の代替案はないのか？

- そもそも何を解決したいのか？
- 漁港を造ることが目的になってたりしないか？

→もしこれだったら

NG 反対！

行政区域（鎌倉、逗子市）を越えた構想を

材木座～由比ヶ浜の景観、生態系保護等の観点から

↓
既存施設の活用

↓
逗子マリーナor小坪漁港
[改修を含めた検討]

行政を越えた検討の可能性が低い場合

↓
腰越漁港の共用

↑
管理者 鎌倉市長

マリンスポーツと漁業共存は皆で知恵をしなければできると思う

漁港は無理
その他の案を考えていくべき

行政漁業関係者のみが市からの「共存」を考えられるのが疑問
世の中、苦労している方々は「ゴマン」というでしょう

漁対協案に対する代替案の検討

代替案を進めた方がいい
漁港は無理なので…

I、II案はマリンスポーツとの共存という意で深刻なフリクションを発生させる

そもそも漁対協案は「造りたい人たち」だけで漁港ありきでつくった案
かつ、定性的比較、消去法で選択しているので、この案をベースに論ずるのはナンセンス
要否のゼロベースで検討要

I案を拡張
↳現行船揚場を突堤まで伸ばす

唯一「漁港を造らせない」ことだと思う

漁港は集約した方が良いのでは
腰越、小坪は既に人工海岸
これ以上増設しても影響小さい

漁師さんの話を聞いて、漁港は必要だと思うのだが、鎌倉湾で建設は無理
代替案を進めるべき

台風時の対応。
船の出し入れ。
危険回避。
漁港は無理なので、この対応をすぐ始めるべき

鎌倉の海は類を見ないほどの豊かな漁場である

稲村ヶ崎の根元部分なら共存しやすいのでは
(対マリンスポーツ、マンション住民)

漁港は出来たら良いと思うが、場所が問題

市プール横掘り込み式が多額のお金がかかるなら、民間企業で出資する所を探し、複合施設と港を一緒に造って見たらどうでしょう
利益の採算が取れるとなればやってみようという企業もあるのでは？これなら税金使わなくて済む

鎌倉には漁港が必要だ！！

新たなWS立ち上げとその支援

漁港が主題のワークショップはおかしい
解決したいのは漁の作業環境改善ならこれをタイトルにすべき
漁港は選択肢の1つではないか？

新たな立ち上げには賛成だが、今のWSのやり方に問題があるので
は？全く議論が進んでおらず意見がまとまっている様子もない
WSの名称も決まっていないうのは全くどうかと思う

造るかどうかという問題と同じくらいにどのように造るかは大事な問題

WSの継続に賛成

なんで傍聴者の意見は無しなのか？
WS委員選出基準だって不明確なのに差別反対！

漁港建設については過去の議論（行政内）で考えられていることなので、漁港建設に向かっている市民の意見を話し合うワークショップは当然である

ワークショップをやるなら議員も参加すべき

WSを次年度も開催した方が良い

多数

- ①WSの名称
・「漁港」というキーワードは入れないべき
・最初に決める必要あり
- ②構成員について
・議員の参加が必要では？
・参加者の選定方法

(1) 環境への影響

何処に造っても環境問題は深刻だ。学者を連れてきて理屈を付けるのだけは止めてほしい

人工的な物を造ると環境が悪化し、また人工的な物を造る

景観は必ず悪くなる(現状工法では)

坂ノ下は日葛シノ大根からショーセン根、27R根、16R根の4ヶ所も大波が立つ所に漁港はおかしい。坂ノ下海域はアラメ、カジメ群落があり、漁業の一番大切な漁礁であることが軽視されている。漁礁は海食物連鎖の基であり、簡単には元に戻らない魚に大切な場所
定置網にも影響大

場所が悪い
ショーセン根から巨大波が入るため

港ができ、船など整理されれば浜の景観も良くなるのでは

漁港を造るのは無理だと思う
いろいろ考えたけど

漁港の最適な和賀江島無理だし、坂ノ下は波が高いので建設は現実的でない。

Ⅱ案、Ⅲ案の場所は鎌倉で最も波の大きい場所である危険性が軽視されている

鎌倉の海岸の素晴らしい景観を血税をかけて悪くする必要がない

市は違うが、逗子マリーナ建設前の海岸線を想像できない
坂ノ下も？

今まで話し合われた環境に悪影響という考えはマリンスポーツ愛好家側
専門家による調査は済んでいる。

(2) 費用対効果

東日本大震災発生時142ある漁港が全て水浸し
後、復興のため60の漁港に集約した
この時期に税金20億をかける意味はあるのか？

鎌倉湾で漁港は無理
漁師さんの困っていることの対策を立てた方が費用対効果あり

普通の企業ならあたり前だが

年間5,000万円の水揚げが必要とあったが、既にもうその範囲以上の水揚げが約束されている

費用対効果算定条件は？

- 償却年数は？
- メンテ費用も含めて考えているか？
- 波及効果は、どこまで考えている？
- 環境対策分も入っているか？
- B/C > 1って甘くないか？

利益だけでなく維持コストの検討もしっかりしてほしい

ファシリテータの費用対効果はあったのか、少なくとも統括してください

市の水産業に対する振興方針が意識が低いと感じる
このまま港を造っても費用対効果には疑問が出ると思う
もっと市の水産に対する対策か振興策が必要

(3) 検討経緯

過去何十年も検討してきた説明程度の経緯しかないのは行政の怠慢と史料
今この案件を掘り起こすのは「何か理由」があるのかと疑わざるを得ない

漁対協の検討は話にならないので今までの話は白紙にしてほしい

三次漁体協の候補地Aを「困難」はどのようなものか、
稲村ヶ崎からの景観とは何か、
候補地がマリンスポーツとの共存という意では一番フリクションが少ない。

今頃漁対協の説明？(第5回)

(4) 行政関与

ワークショップって何だったの？

漁港建設前提で議論が進んでいるが、その前に市民の意見も今一度整理して！

市長が変わると、予算が無いと、いろいろな要素で漁港建設が変わる
漁港は無理なので違うことを考えるべき

漁業関係に対する行政の関与が手厚すぎる
過度に保証しても、時代にマッチしてなければ淘汰されるのみだ。
まずはある程度の努力はするべきだ。
努力が感じられない

逗子市（逗子マリーナ漁港）への相談はしているのか？

港議論する前に津波対策最優先ではないか？

どんな嵐のときも大丈夫という前提にしないことを望みます
ブロックだらけにならないよう

逗子市、組合が違うから使えない、だから造る。
それは反対！！

漁港が無理な代わりにもっと漁師さんの困っている事にすぐ市は対応してほしい

行政はこれまでに提案された案についてクイックレスポンスで回答して。
検討したとか、してないとか、やるつもりないとか

この問題を何十年も未解決のままにしている市は一体どうなってるの？
市としての姿勢をはっきりさせてほしい

基本計画の流れ説明では市側は事前に具体的、定量的なアセスメントをやるようには受けとれなかった→ちゃんとやってよ
計画に組み込まれた後、止められないのも問題ではないか？

(5) 産業

1つの第一次産業から様々な産業が生まれる

元駐車場を直売所に由比ヶ浜中央西側駐車場

産業振興は漁港とは別問題

産業振興は漁港がないとできないのか？
漁港以外の手段を検討してほしい

漁港 = 産業振興 (= 地産地消) ではない
漁港建設はもっと実績をつくってから検討すべきことだと思います

市場に出回らない魚が市民が食べられるのはうれしい (JAの市場でかわった野菜が食べられている)
漁港が必須とは思えない

漁業による産業振興 (第一次から第二次、第三次への波及効果) は可能性あり
↓
だけど…そのために漁港は必要か？

漁師さんの話聞いたり、浜で見ていて大変なので、漁港あればいいと思うけど、建設は無理じゃないかな

漁港ができればいいなと思い、自分なりに考えたけど、漁港建設は無理。
材木座は造れないし…

漁港あった方が良い和賀江島だめ、やっぱ無理ですよね。

(6) その他

基本計画でのポンチ絵は、漁業関係者の要望 (すべての漁船の避難) が取り入れられているのか？

工事期間中～漁港利用後での134号線渋滞への影響は？

漁港は必要です！
でも鎌倉湾で造るのは無理です

最終案がそもそもの漁港建設要望を完全に満たしたものにしなければ意味が無い

漁師たちの苦労はこれだけ話し合ってもいまだ理解されないのが残念!!

鎌倉には私設幼稚園しかないのはおかしい

漁港造るのはあきらめて、他の漁港と話し合い新しく造るより広げた方がいいんじゃないかな。

日本の食糧事情を考えると第一次産業を盛り上げることは必須

市民以外の方が意見を言うのはおかしい!!

